



ふれあいの おページ ちょっとおじゃまします

取材 市民レポーター・
入江洋子さん



今年の3月には市民文化会館で市主催の「春のコンサート」に初出演しました。緊張しながら、あっという間に終わってしまったそうですが、それなりに自信がついたとか。11月10日にはメイブルリーフコンサート

ゴスペルは毎月2回土曜日の午前10時から正午まで、中央公民館で。ソプラノ、メゾ、アルトのパートに分かれて発声練習から始めるのは普通のコーラスグループとかわりありませんが、クラシックが主に歌われる合唱団と違って、基本的には黒人霊歌と呼ばれる曲や日本の歌謡曲をゴスペル風にアレンジしたものを歌います。でもあまり厳しい雰囲気は無く、至ってカジュアルにやるのがオールウェイズ風です。手拍子や足拍子も入って、皆さん歌うところが、とても楽しそうです。

ゴスペルグループ オールウェイズ



ゴスペルというのは普通のコーラスとはどう違うのでしょうか。元氣な歌声を取材させてもらいました。
ゴスペルグループ「オールウェイズ」の皆さんは、平成13年9月にスタートした公民館主催講座「ゴスペルを歌ってみよう」から、有志が集まって結成されました。現在は総勢30人で、男性女性、年齢を問わずいろんな方々が参加されています。

1・4・4・4・0。
問い合わせは新藤さん（☎75）

指導の牧野先生も伴奏の富岡先生も「上手に歌うことより、まず楽しく歌うこと」に重点を置いてレッスンされています。とにかくレッスン中は皆さんの笑顔が絶えません。またなぜかおめでたになる方がこの1年半の間に5人も。大きな声を出して、楽しく歌うのは母胎にも良いことなのかもしれません。

に出演し、ビートルズの『ヘイジュード』や、会場の皆さんと一緒に歌うための『明日があるさ』を振り付け入りで歌いました。
オールウェイズのメンバーは女性が多いのですが、男性がとても頑張っています。ソロパートを引き受けてシャウトする場面もあったりして、お家でのパパとは違うカッコイイところを見せてくださいます。

ギャラリー コーナー

<p>【ギャラリーいけだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大垣圭介彫刻展「布」 ●安田春雄水彩画展 ●第6回多賀保恵油絵展 ●岡本善弘展 	<p>～12/2(月)</p> <p>12/4(水)～9(月)</p> <p>12/11(水)～16(月)</p> <p>12/18(水)～23(祝)</p>	<p>【開館時間】10：00～19：00（最終日は16：00まで）</p> <p>【休館日】火曜日、12/24(水)～1/7(火)</p> <p>【入館料】無料</p> <p>【使用料】</p> <p>〈ギャラリーいけだ〉5万円（展示販売不可）</p> <p>〈ギャラリーVEGA〉15万円（ブロックの分割使用＝7・10万円＝、展示販売も可）</p> <p>【使用期間】水～翌週月曜日の6日間</p> <p>【申し込み】使用希望月の1年前から</p>
<p>【ギャラリーVEGA】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第46回岳鳳会書画展 ●Kibecraft art glass & wood work ●池場加枝個展 ●池田市美術協会会員VEGA賞受賞者展 ●Glass Art & Flower Design「2人のひとみ展」 ●VEGA絵画展 	<p>～12/1(日)</p> <p>12/4(水)～9(月)</p> <p>12/4(水)～9(月)</p> <p>12/11(水)～16(月)</p> <p>12/18(水)～23(祝)</p> <p>12/18(水)～23(祝)</p>	<p>使用申し込みは （財）いけだ市民文化振興財団 ☎750・3333</p>



◀イメージキャラクターの「おはこちゃん」



にぎわう「おはこ市」

「おはこ市」を10月からスタートさせました。これは、石橋商店街の店主の皆さんたちで作る石橋商業活性化協議会（明里洋助会長）が、現在

各店自慢の

「おはこ市」で活気を

毎月18日 石橋商店街で「おはこ市」



の非常に厳しい各店舗の状況を打開し、商店街に活気を取り戻すとともに、商業を通じて地域に貢献しよう」と企画されたもので、毎月18日に行われることになっています。

おはこ市に参加するのは約90店舗。商店街にはテーマソングが流れ、おそろいのはつぴやエプロンでイベントを楽しみ演出しています。10月のおはこ市の目玉キャンペーンセールであった「ほんまかいな18円」の企画は好評でした。これからも、毎回新しい企画で楽しませてもらえそうです。また、アンケート参加の方に抽選で現金や粗品が当たる「おはこ市」コンクールも実施しています。

チャリティーで地域に貢献
「市民安全基金」に寄付

同協議会では「おはこ市」開催に当たって、単に売る買うの関係だけではなく「商業を通じて地域にどれだけ貢献できるか」を検討。その結果、安全なまちづくりの一役買おうと、売り上げ金の一部を「池田市市民安全基金」へ寄付することを目的に「おはこちゃん基金」を設立。全店の参加を前提に、毎回8店を「おはこ市特選店」に選び、チャリティーセールを実施したその店の売り上げの一部が、寄付金に充てられます。「商店街が地域の一員として、こ

れまで以上に地域にかかわり、地域と共生していこうと考え、検討を重ねました。その結果、地域の安全、特に子どもたちの安全に少しでも力になりたい、という思いから安全基金へ寄付することになりました」と企画意図を説明する明里会長。景気回復はまだまだ遠いようですが、商店街と市全体の活性化、商店街と地域の新たなコミュニケーションの形成を目指して始まった「おはこ市」。皆さんも18日には石橋へ足を向けられてはいかがですか。

問い合わせは地域活性化課（☎754・6241）

金属工芸アーティスト



池田市美術協会会員。12月11日～16日、中央公民館の美術協会会員展に出品。来年1月29日～2月3日にはギャラリーVEGAで個展を開催する。

ふるかわ はるよ
古川治代さん

（井口堂一丁目）

ひと



地域で活躍されている方を紹介します

「美術協会会員で金工の女性は私だけ。男性ではご高名な片岡宏幹先生がいらっしゃいますよ」。案内された工房は、震災で半壊したのを改築した4畳半ほどの広さ。ガスパーナーや叩き台、工具類、デザインを施した製作中の金属片、量大ほどの金属板などが目につきます。

「お見えになった記念にリングを作りましょう。楽しいですよ。純銀の細い棒を指のサイズに手早く切って「はい、あとはご自分でどうぞ」。パーナーで軟かくし、自分のイニシャルを刻印し、リングの外側を叩いて輝きに変化をつける。要所を古川さんが手を入れて約1時間で完成。「そう、その調子で」と、教えるのもお上手な古川さんです。

ご主人の北海道転勤のとき彫金の面白さを知り、これからというときに転勤に。それから10年京都の金属工芸の先生に通い修行をされました。

40歳を過ぎて、美術系大学の学長を訪れ、試験に合格して本格的に金属工芸の道へ。在学中は数々の作品で受賞され、卒業生を代表して答辞を読まれたということです。「ここまでやってこられたのは、いい先生方に恵まれ、周囲の皆さんの応援が得られたから…。この気持ちを大切にして地域の皆様のお役に立ちたいと考えています」とのこと。古川さんの今後に期待したいものです。

取材 市民レポーター・上浪多恵子さん